



ゆり組だより 3月号

平成29年3月17日

ことり保育園 担当: 古牧

厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。

楽しみに朝から大はしゃぎだったお別れ遠足。入り口付近にあるマンモスの骨を見ては触り「凄く大きくて硬いよ」と、いろいろな角度から見たリ虫が巨大化しているコーナーでは虫が平気な子も驚いたようで保育者の手をぎゅっと握る姿が見られました。戸外へ出て広場へ到着すると「鬼ごっこしよう!!」の一声で、皆一斉に大きな石の上に靴を置き走り出していました。誰が鬼で誰が逃げているのが... 走る中で決まっていく様子を見て「かしこいなあ」と、思わず笑ってしまいました。

先日、ホールでゲームをしました。靴下と上履きを脱ぎ、準備運動としてホールの端から端までほふく前進。今回は、足を動かさずに腕の力だけで進むというルールを作ってスタートするとスルスル進める子「あれ、全然進まないよ」と、かいたは踏ん張り顔を真っ赤にする子「もう動けない!!」と、うつ伏せで大の字になる子、さまざまの姿が見られ早くゴールすると「腕をこするんだよ」と、ツェスターで伝えたり、後ろから友だちの足を押し手伝う子もいました。体が温まると、ピアノを弾いた音の数の人数でグループを作って座るというゲームをすると「1」で外荒れて2人、3人組を作っていたり、数が増えると「ええーっ、何人だ?」と、友だちと確認し正解すると両手で「ガッツポーズ」をして喜んでいきます。大人数で遊ぶ楽しさを感じられた一日となりました。

さて、保育証書を受け取る練習では、体が硬くなり歩き方がぎこちなかったり、声や手足が震えている様子から緊張感が伝わり、一人ひとりとの思い出が浮かんで来て、一緒に居られる時間の大切さを感じています。保護者の皆様には、温かいおことは「や」ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。残り僅かとなりましたが、一日いちにちを大切に過ごしていきたいです。